

安城建築様

2010年1月5日

我が家が完成して、早 2 ヶ月が経過しました。初めのうちはホテルにいるようで落ち着かず、また、アレコレ足りないものに気付いては購入するといった風でばたばたしておりましたが、ようやく生活のリズムが整ってきたように思います。ここで改めて思うのは、安建さんをお願いして良かったあ、ということです。完成度の高い空間設計と全館空調による住み心地の良さ、外に立っていつまでも眺めていたくなるような外観、素晴らしいです。そして、家作りの過程での、スタッフの方々や職人さん達との楽しいコミュニケーションは忘れられません。正直言って、ここまで完成度の高いものが手に入るとは思っていませんでした。感謝の気持ちでいっぱいです。そして、我々としては、この家作りのタイミングで今の安建さんに出会えて、本当にラッキーだったと思っています。

それでは、安建さんとの出会いから完成までのエピソードについて、少し振り返ってみたいと思います。

安建さんとの出会い:

我々が家作りを本格的に検討し始めたのは、2008 年春頃からでした。まず、大手ハウスメーカーのモデルハウスが立ち並ぶ住宅展示場へ向かいました。家のイメージとしては、子供も含めて家族全員が洋風住宅が良いということ、それから快適な生活を求めて、高気密・高断熱という性能を重視していました。あまり多くのメーカーと交渉するのも骨が折れるので、上記のイメージに比較的マッチすると思われる 3 社に絞り、検討を開始しました。

約 4 ヶ月の期間を掛けて、プラン作り、現場見学、完成見学等をこなし、ほとんどの休日をこの活動に費やしました。率直な感想としては、全く楽しくない苦痛の 4 ヶ月でした。外観は四角で平凡、コストが高すぎて仕様面で多くの妥協を強いられる、契約を強く迫ってくる(今月契約しないと、値引きが出来ませんという調子)、などなど。

そんな最中、迷って疲れている我々の様子を見た両親から、地元工務店の方が安くて良い家ができるという助言があり、地元安城の工務店を何件かあたってみることにしました。そもそも工務店というと、情報が乏しいので選択が難しい、経営や技術が心配、といったイメージがありました。が、回ってみると以外に悪くないという印象に変わっていききました。そんな中で一際輝いていたのが安建さんでした。とにかくホームページがダントツに充実しており、施工例を見て、安城にこんな工務店があるなんて信じられませんでした。最初に訪問したのは2008年9月だったと思いますが、澤さんにいろいろと現状の悩み(9月中に契約を迫られていることなど)を相談したところ、“慌てる必要は全然ないと思いますよ。じっくり時間を掛けて考えた方が良いと思いますよ” と言って頂きました。この一言が本当に大きな分岐点だったと思います。その後、社長さんと軽トラに乗って安建さんの思想を沢山聞きながら、完成後の家や完成前の家を見せて貰ったのですが、これで迷いが消え、安建さん一本化へと傾倒していききました。

デザイン:

安建さんの過去の施工例を見て、手塚さんを指名させて頂きました。手塚さんの勉強会に参加し、重要度はデザイン、ファンクション、パフォーマンスの順だという主張にも共感したからです。

我々が建てる場所は、敷地内の離れ家ということもあり、長細い異形の形状であり、あまり自由度が無いという条件でした。なので、いくら優秀なデザイナーと言えども、外観デザインに過大な期待をしてはいけなないと、自分達に言い聞かせていましたが、そのデザインは素晴らしく、期待以上のものでした。間取りも、吹き抜けの一大空間をデザインして頂き、ハワイ旅行で宿泊したコンドミニアムを彷彿させる空間を実現して頂きました。

契約までのエピソード:

地元工務店ということで両親もすんなり納得すると思っていたのですが、大きな間違いでした。やはり同じ敷地内に建てさせてもらうので、建築現場も見てもらい説明する機会を設けたのですが、通し柱が無い(2x4 工法)? 瓦じゃない? こんな家じゃない! ということで衝突してしまいました。我々としては、もう気持ちは完全に安建さんオンリーで、手塚さんの設計まで完了しているのに、後には引けない状態でした。そこで、社長さんと澤さんに相談し、安建さんから両親へじっくり説明する機会を設けて頂くことにしました(親子では感情的になってしまうため、我々夫婦抜きで)。その話し合いの中で、澤さんが、“息子さんは大学まで出して貰い、両親のお陰で今の自分があると言っていますよ” ということ伝えた時に母が感動して涙ぐみ、それが1つのきっかけとなり、社長さんや、大工の遠山さんの説明が素直に聞けるようになったようです。そして、その日を境に、両親は協力的になり、契約まで一気に進むことができました。このことも、お客様思いの安建さんだからこそ、乗り越えられた山だったに違いなく、大変感謝しております。

家作り:

話しには聞いていましたが、本当に、スタッフの皆さんが妥協せずに、より良くしようという姿勢を持って仕事に取り組んでくれました。例えば、現場監督の蜂谷さんは、玄関ポーチの上げ裏が良くないと自ら判断し、手間がかかったと思われそうですが、作り直しをしてくれました。その他に、大工の遠山さん、サイディングの人、ドライウォールの夏目さん達も同様のエピソードがいくつかあります。本当に素晴らしいスタッフで感心の連続でした。それから、皆さんとのコミュニケーションも楽しく、家作りが楽しい思い出にすることができました。

それから、決断力がない我々としては、インテリアコーディネーターが不可欠と判断し、田代さんの協力を得ることにしました。打ち合わせを重ね、我々も欲がどんどん出てきて、田代さんを相当悩ませたことだろうと思いますが、嫌な顔一つせずに全て対応して頂き、大変感謝しております。そして、我が家のテーマは、“ハワイのコンドミニアム”でしたが、最終的に見事にイメージ通りに仕上げてくれました。

最後に:

安建さんの看板に「この家に暮らし始めて、一番大切なことに気付いた」というキャッチフレーズがありますが、とてもよいですね。今回の家作りを通して、家族の絆が深まったと実感しており、このキャッチフレーズが腹に落ちる気がいたします。夫婦の会話も相当増えましたし、オープンな間取りで家族の顔や様子が良く見えます。快適でカッコイイ家を手に入れただけでなく、家族の絆を深めることも出来、本当に幸せを感じています。このような気持ち良さを伴って家作りをできる工務店は数少ないと思います。安建さんの今後益々の発展とご活躍を心から祈っております。

安城市 I 様